

Mizuho Daily Market Report

2023/5/17

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	135.81	136.39	+0.27	+1.16
EUR	1.0890	1.0862	▲0.0012	▲0.0100
AUD	0.6690	0.6656	▲0.0044	▲0.0106
SGD	1.3362	1.3403	+0.0042	+0.0129
CNY	6.9629	6.9773	+0.0256	+0.0568
MYR	4.5020	4.4990	+0.0018	+0.0510
THB	33.93	34.10	+0.31	+0.38
IDR	14820	14820	+15	+78
PHP	56.08	56.06	▲0.01	+0.30
INR	82.20	82.22	▲0.09	+0.17

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.534%	+3.2 bp	+1.5 bp
日本(10年)	0.397%	▲1.0 bp	▲2.9 bp
ユーロ圏(10年)	2.353%	+4.4 bp	+0.3 bp
オーストラリア(5年)	3.145%	▲1.0 bp	▲1.3 bp
シンガポール(5年)	2.694%	▲1.8 bp	▲1.5 bp
中国(5年)	2.544%	+0.3 bp	▲3.8 bp
マレーシア(5年)	3.462%	+0.0 bp	+1.3 bp
タイ(5年)	2.158%	▲1.2 bp	+1.3 bp
インドネシア(5年)	6.085%	▲2.6 bp	▲12.5 bp
フィリピン(5年)	5.561%	▲8.8 bp	▲1.4 bp
インド(5年)	6.927%	▲3.7 bp	▲5.5 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,012.14	▲1.0%	▲1.6%
N225(日本)	29,842.99	+0.7%	+2.1%
STOXX50(ユーロ圏)	4,315.51	▲0.0%	▲0.2%
ASX(オーストラリア)	4,224.76	▲0.3%	▲0.2%
FTSTI(シンガポール)	3,214.04	▲0.0%	▲0.9%
SSEC(中国)	3,290.99	▲0.6%	▲2.0%
KLSE(マレーシア)	1,423.50	+0.4%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,539.84	▲0.1%	▲1.6%
JKSE(インドネシア)	6,676.564	▲0.5%	▲1.5%
PSE(フィリピン)	6,588.90	+1.0%	▲0.5%
SENSEX(インド)	61,932.47	▲0.7%	+0.3%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	259.89	▲0.7%	▲1.6%
金	1,989.17	▲1.4%	▲2.2%
原油(WTI)	70.86	▲0.4%	▲3.9%
銅	8,074.24	▲1.8%	▲5.7%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	134.80	—	136.80
EUR/USD	1.0820	—	1.0960
AUD/USD	0.6590	—	0.6780
USD/SGD	1.3270	—	1.3480
USD/CNY	6.9800	—	7.0290
USD/MYR	4.4820	—	4.5500
USD/THB	33.45	—	34.17
USD/IDR	14720	—	14850
USD/PHP	55.80	—	56.40
USD/INR	82.10	—	82.54

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は136円台前半でオープン。前日に米国債務上限問題に関して、イエレン財務長官より最速で6/1にデフォルトの可能性と言及されたことで、一段と警戒感が高まり米金利低下・ドル売りの流れに。上値の重い推移が継続し135円台後半で海外時間へ渡った。
アジア通貨は全般的に動意に乏しい推移となったが、タイバツについては14日に行われた下院総選挙で勝利した野党による連立政権樹立をめぐる不透明感から下落する展開となった。

海外市場のドル円は135円台後半でNYオープン。NY時間朝方に発表された米4月小売売上高が予想を下回り、発表直後はドル売りで反応も、売り上げのコア指数は予想を上回っており、直ぐに136円台に戻す。続いて発表された米4月鉱工業生産も予想を上回り、ドル買いが強まり136円台後半まで上昇。NY時間午後はウイリアムズ米ニューヨーク連銀総裁の「経済はより正常なパターンに戻り始めている。」「需給のバランスが取れてきた」等の発言が上げ幅を抑え、136円台前半まで反落する。その後は横ばいでの推移が続き、136円台前半でクローズした。

【金利】

金利市場は、中期で特に上昇し、イールドカーブはややフラット化した。朝方発表された4月小売売上高が、コア指数で強い数値を示したほか、4月鉱工業生産も強めの結果となったことから、寄り付きより債券売り優勢となった。また、FED要人が利上げ継続を示唆する内容の発言をしたことも、金利上昇の材料となった。

【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。昨日は米国で発表された経済指標が底堅い推移となったことを受け米金利は上昇。米債務上限問題に関する報道には注意が必要な状況ではあるものの過度な警戒感は後退している状況であることも踏まえるとドルは買われやすい展開が継続すると予想する。

【本日の予定】

(日本) 1Q GDP(速)
(日本) 3月 鉱工業生産(確) / 設備稼働率
(日本) 国債入札(20Y)
(アジア) 1Q 豪 賃金指数
(アジア) 4月 シンガポール 非石油地場輸出 / 電子機器輸出
(アジア) 4月 中国 新築住宅価格
(アジア) 4月 豪 ウェストハック 景気先行指数
(欧州) 4月 ユーロ圏 CPI(確)
(欧州) 4月 ユーロ圏 EU27カ国新車登録台数
(欧州) 独 国債入札(10Y)
(米国) 4月 住宅着工件数 / 建設許可件数 / 住宅建設許可
(米国) MBA住宅ローン申請指数
(米国) ホスティング・アトランタ連銀総裁講演
(米国) 国債入札(20Y)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。